

FTP リポジトリでの ACS バックアップの設定例

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ACS CLI で FTP リポジトリを作成する](#)

[CLI で ACS バックアップを作成する](#)

[GUI で FTP リポジトリを設定する](#)

[GUI を使用してバックアップをスケジュールする](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Secure Access Control Server (ACS) の CLI および GUI で、File Transfer Protocol (FTP) リポジトリを作成して、スケジュールされたバックアップを有効化するためのプロセスについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Secure ACS バージョン 5.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

ACS CLI で FTP リポジトリを作成する

FTP サーバに関する情報を用いて CLI で次のコマンドを入力します。

```
acs/admin(config)# repository myrepository
```

```
acs/admin(config-Repository) #url ftp://101.10.10.1/
acs/admin(config-Repository) #username anonymous password plain anonymous
acs/admin(config-Repository) #exit
```

CLI で ACS バックアップを作成する

アプリケーションと Application Deployment Engine (ADE) のオペレーティング システム (OS) バックアップ

CLI で次のコマンドを入力します。このコマンドには、ADE OS 設定が含まれています。

```
acs/admin#backup backup-name repository myrepository
```

ACSバックアップファイルには次のものがあります。

- データベース : データベース ファイルには ACS に関連するデータが含まれています。
- データベース パスワード ファイル : dbcred.cal。 /opt/CSCOacs/conf にあります。
- 証明書ストア : /opt/CSCOacs/conf にあります。
- データベースのビューア : バックアップした ACS ノードでビューアが有効な場合。

バックアップ操作を表示し、正常に完了したことを確認するには、show backup history コマンドを入力します。

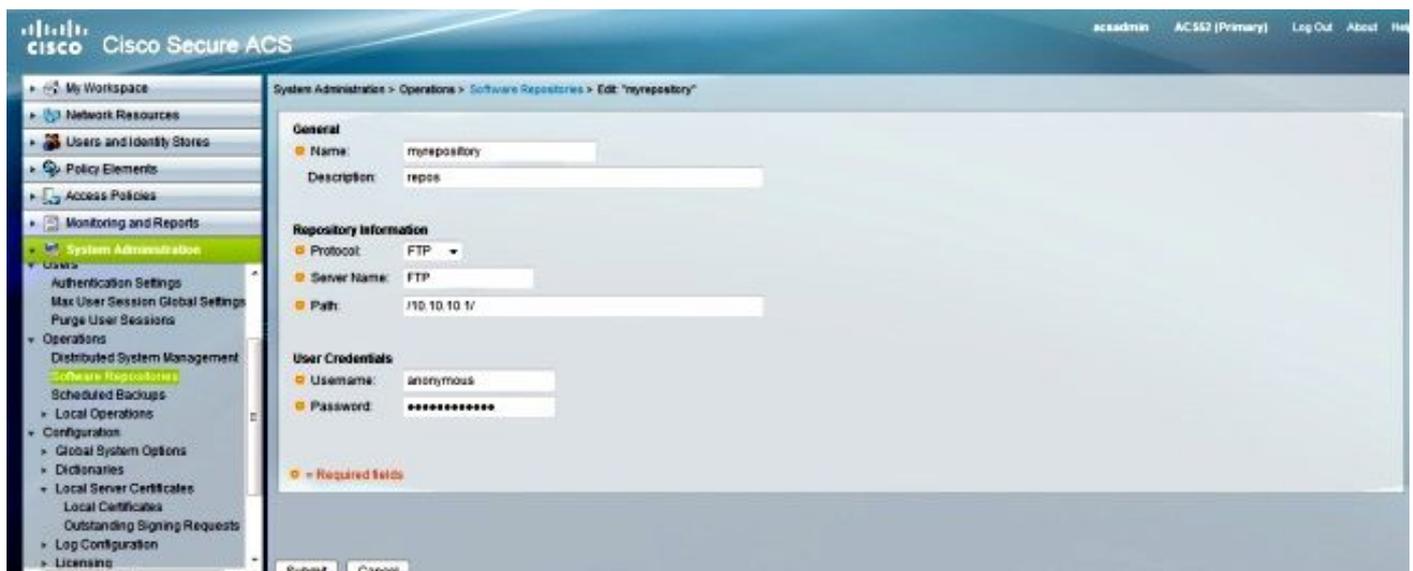
アプリケーションのみのバックアップ

次のコマンドを入力します。

```
acs/admin#acs backup backup-name repository myrepository
```

GUI で FTP リポジトリを設定する

[System Administration] > [Operations] > [Software Repositories] の順に移動し、新しいリポジトリの FTP サーバに関連する情報を入力するか、または現在の情報を編集します。



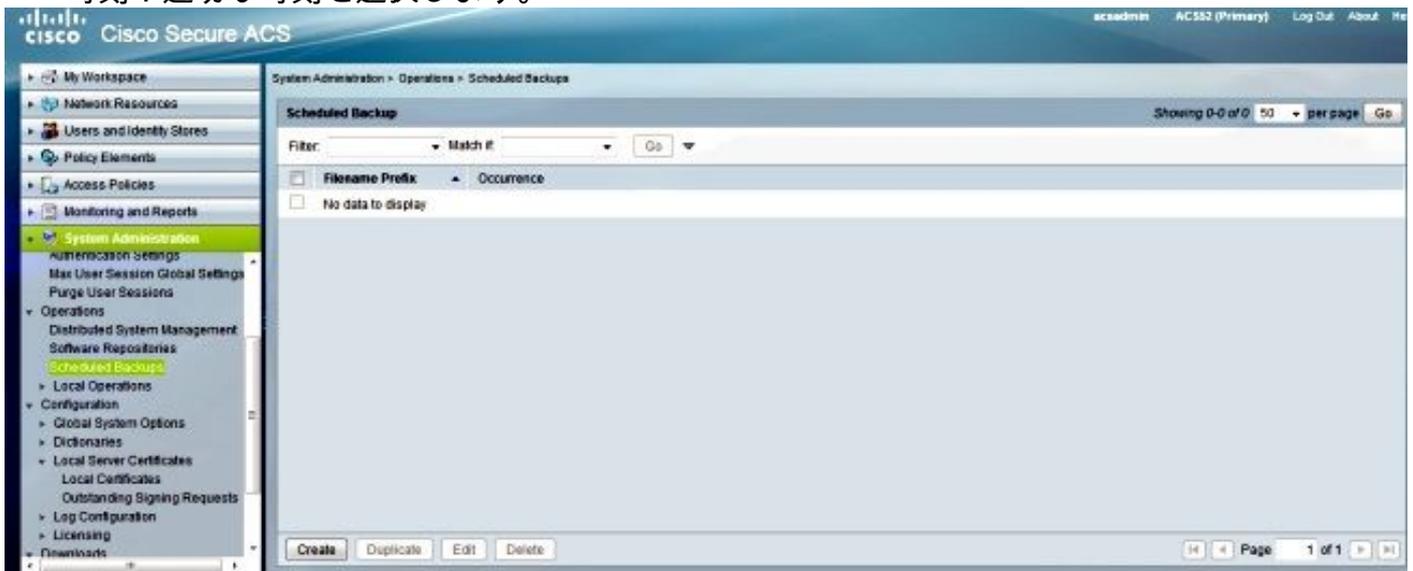
GUI を使用してバックアップをスケジュールする

バックアップは、事前定義された間隔で実行されるようスケジュールできます。スケジュール バックアップでは、プライマリ Web インターフェイスまたはローカルの CLI を使用します。スケ

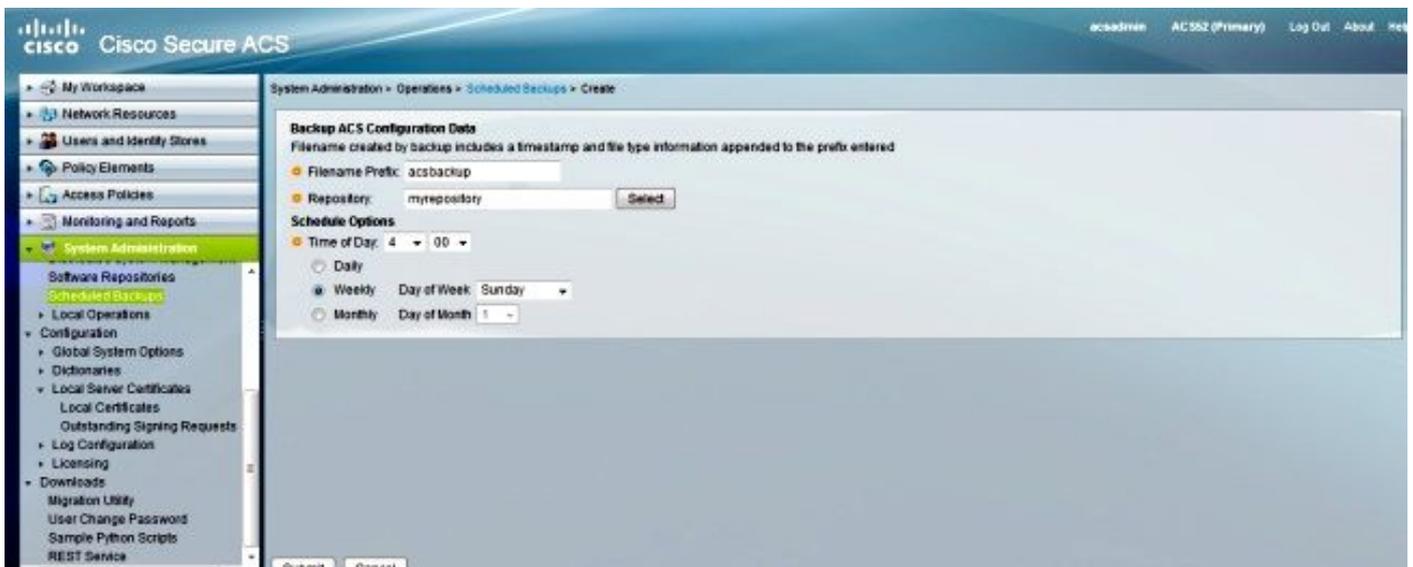
スケジュール バックアップ機能では、ACS 設定データがバックアップされます。

[System Administration] > [Operations] > [Scheduled Backups] の順に移動して [Create] をクリックし、次の情報を入力します。

- バックアップ データ：バックアップによって作成されたファイル名。入力したプレフィックスに付加されたタイム スタンプおよびファイル タイプ情報が含まれます。
- ファイル名プレフィックス：ACS バックアップの名前を入力します。
- リポジトリ：[Select] をクリックして、バックアップを保存できる新しいダイアログボックスが開きます。
- 時刻：適切な時刻を選択します。



次の例では、ファイル名は `acsbackup` で、リポジトリの名前は `myrepository` です。



[Submit] をクリックした後、ACS バックアップが正常に作成されて転送されたことを確認するために FTP サーバを確認してください。

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

最後のバックアップ操作の詳細については、/opt/CSCOacs/logs/acsbackup_instance.log ファイルを確認します。

show backup history コマンドを入力して、バックアップ操作のステータスを表示します。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。